

## 1 国語に関する調査

### 【特長】

- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする問題について、多くの生徒が正答することができている。筆者の主張の根拠を明確にするという活動を通して、文章の意図を理解することができていると考えられる。
- 本文中の情報と情報との関係についての理解を問う問題について、多くの生徒が正答することができている。授業で、具体と抽象を変換して表現する学習を行った成果と捉えている。

### 【課題】

- 文章と図を結び付け、内容を解釈する問題について課題が見られる。図やグラフのある文章を読み、それらが文章中においてどのような役割を果たすかを考える取り組みが必要である。
- 文章を要約する問題について課題が見られる。どの範囲を要約すればよいかを理解し、その範囲内での重要な部分を読み取る学習を多く取り入れていく必要がある。

## 2 数学に関する調査

### 【特長】

- 正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる問題について、多くの生徒が正答することができている。ただ単に正の数・負の数の計算をするのではなく、問題の意味を読み取り、理解したうえで解答していると捉えている。
- 確率の問題を積極的に取り組んでいたのは、授業で実際に10円玉を投げ、結果の検証を行い、思考を巡らせた成果だと考えられる。

### 【課題】

- 記述式の問題になると無解答率が高くなっている。問題を解く前から諦めるのではなく、根気強く取り組んでいく姿勢を育てることが大切である。
- 証明問題に関して、課題が見られる。物事の筋道を立て、根拠を明確にして表していくことは、これからの実生活にも繋がっていく。授業では、学び合いや教え合いの機会を増やし、自分の考えを相手に伝えるように説明していくための時間が必要である。

### 3 生徒質問紙の結果より

#### 【特長】

- 人が困っているときに、進んで助けている生徒が多い。学校教育目標の一つである「思いやりの心」が生徒たちに浸透していると考ええる。学習面・生活面において、また、学校行事・部活動等において、お互いに助けあい、協力しながら学校生活を送れていると考えられる。
- 学校に行くのが楽しいと感じている生徒が多く、日々の学校生活が充実していることが伺える。また、人間関係が良好なことも、学校生活の楽しさに繋がっていると考ええる。生徒同士の関係、教職員との関係も良好だと捉えている。

#### 【課題】

- 「特別の教科道徳」の授業において、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動が少ない。他教科にも共通しているところがあるので、自分の考えを深め、表現して伝えていく場面を、設定する必要がある。
- 普段、携帯電話やスマートフォンを使ってゲームや動画視聴をする生徒が多い。時間を決める等、しっかりルールを作り、上手に活用したい。また、携帯電話やスマートフォン以外の楽しいこと、打ち込めることを見つける必要がある。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- 生徒が自己肯定感を高め自信をもって表現できるよう、積極的に褒めたり生徒が互いに認め合う場面を設定したりする。
- 基礎・基本の定着を図るために、繰り返し取り組む課題や、短時間で取り組める課題をきっかけとして習慣化するとともに、長時間かけて粘り強く取り組む課題を効果的に設定する。
- 知識や技能を身に付けさせる指導に加え、習得した知識や技能を活用し、主体的に考えたり、表現したりする活動をあらゆる場面において設定する。
- 年間3回実施している校内での研究授業を今後も継続させていく。この研究授業において、ICT活用の工夫・改善に努める。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- お子さんが自己肯定感をさらに高められるよう、よいところを伸ばし、やる気を引き出す言葉かけをお願いします。また、学習において基礎・基本の定着を図るため、計画的に家庭学習を進めることができるよう、ご家庭でもご指導をお願いします。
- 携帯電話等でSNSやゲーム、動画視聴の時間が長い生徒の割合が高い状況が見られました。ご家庭での過ごし方について定期的に振り返り、生活リズムが乱れないよう留意してください。
- 「学校に行くのが楽しい」「友達関係に満足している」と回答している生徒が多く、気持ちが安定していることが分かります。今後も、家庭・地域・学校で、子どもたちを支えていきましょう。